

2024年10月15日

組合員・利用者本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

- 当組合は、経営理念『きらめき発信』 経営指針「創造（creation クリエイション）」 「進取（challenge チャレンジ）」 「協同（cooperative コーオペレイティブ）」のもと、「組合員・利用者本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成に貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。
- また、上記とあわせ金融庁より各金融機関に対し公表が期待される「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶうえで比較することができる統一的な指標」（「比較可能な共通 K P I」）も同時に公表いたします。

玉名農業協同組合

I.取組状況

1 お客さまへの最適な商品提供

【原則2本文および(注)、原則3(注)原則6本文および(注2、3)】

- 特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えし、長期安定的な資産形成・運用に資する最適な投資信託を取り扱っております。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客様のニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。

<投資信託の取扱い商品ラインナップ(2024年3月末時点)>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1	4
株式型	3	5
REIT型	1	2
バランス型	7	

<商品選定の考え方>

- 主な選定基準
- 長期投資を前提とした投資信託であること
 - 手数料が良心的な水準であること
 - 過去の運用実績が相対的に良好であること
 - 資産形成層には、過度に分配金を捻出する投資信託ではないこと
 - 運用体制について、外部機関の評価を得ていること

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

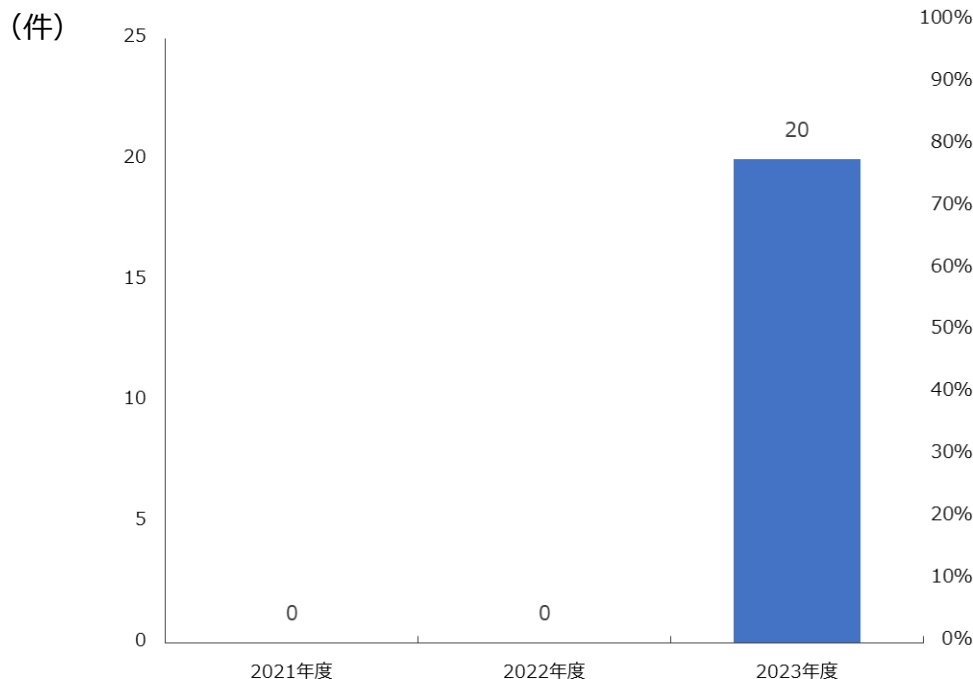
I.取組状況

2 お客さま本位のご提案と情報提供①

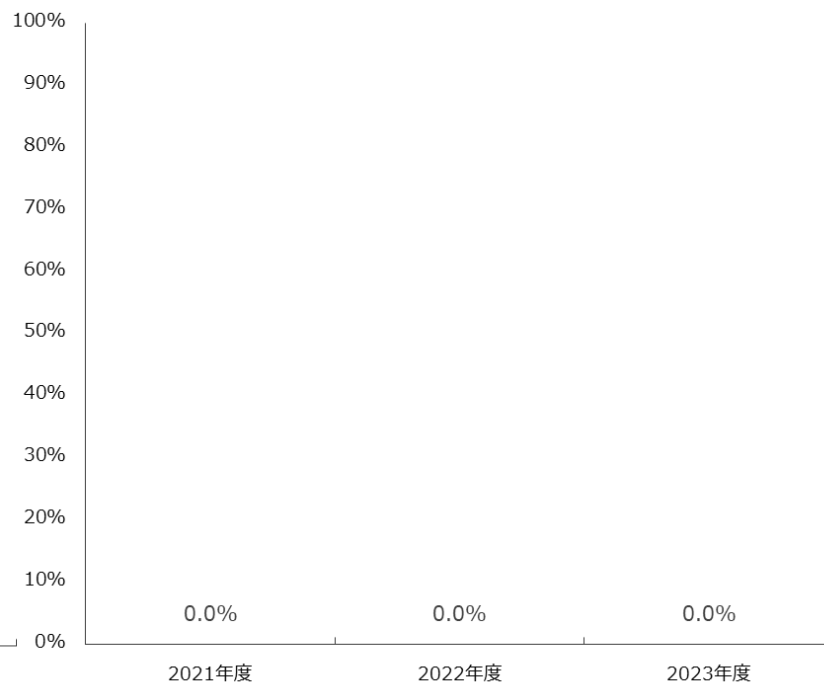
【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

- 組合員・利用者の皆様に安定的な運用成果をご享受いただくために、組合員・利用者の金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて適切な情報提供を行うとともに、分散投資・長期投資の有用性をご提案した結果、「投信つみたて」を利用される組合員等が20件となり、「毎月分配型ファンド」を選択された方はいらっしゃいませんでした。

<投信つみたて契約件数の推移>



<購入額に占める毎月分配型ファンドの比率>



I. 取組状況

2 お客さま本位の提案と情報提供②

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1、2、4、5）】

- 組合員・利用者の皆様の投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供するために、JAバンクセレクトファンドマップ等を活用のうえ簡潔かつ分かりやすい情報提供を実施しました。

JAバンク セレクトファンドマップ

2024年1月版

リスク・リターン: 小 ← 大

安定型 | 中間型(安定～中間) | 中間型(中間～積極) | 積極型

資産クラス: バランス, 債券, 債券, 株式, REIT

コア・サテライト戦略について

保有する資産を守りながらコア(中核)資産と
残りのサテライト(衛星)資産に分けて運用する方法

＜イメージ＞

コア: 安定な運用を目指す
・バランス型ファンド
・安定型の債券型ファンド等

サテライト: 高い成長を目指す
・個別銘柄やセクターファンド等

JAバンクのセレクトファンド

JAバンクのセレクトファンドは、
国内約6,000本の中から、
JAバンクが独自の基準で
長期投資に適した投資信託を厳選しました。

主な選定基準等

- 1 長期投資: 長期投資を前提とした投資信託であること
- 2 手数料: 手数料が優遇的な水準であること
- 3 運用実績: 過去の運用実績が相対的に良好であること
- 4 特長性: 資産形成には、適度に分配金を出す投資信託ではないこと
- 5 運用体制: 運用体制について、外部機関の評価を得ていること

お客さまの長期投資にとって
最高の提案を目指し、投資信託を
厳選しているんだね！

左からリスクの
小さい順番に
並んでいるんだね！

自分のスタイルに
合ったファンドが
分かるね！

「投資信託別選定書（交付目録見直し）」のご請求、お申し込みは
玉名農業協同組合
登録金融機関 九州財務局長(食全)第58号
本所TEL: 0968-72-5504

I.取組状況

3 利益相反の適切な管理

【原則3本文および（注）】

・組合員・利用者の皆さまの利益を不当に害することがないように、利益相反管理方針に基づき、適切に管理しております。また、営業部門から独立した利益相反管理統括部署を設定のうえ、利益相反のおそれのある取引を特定し利益相反を管理しております。

4 お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

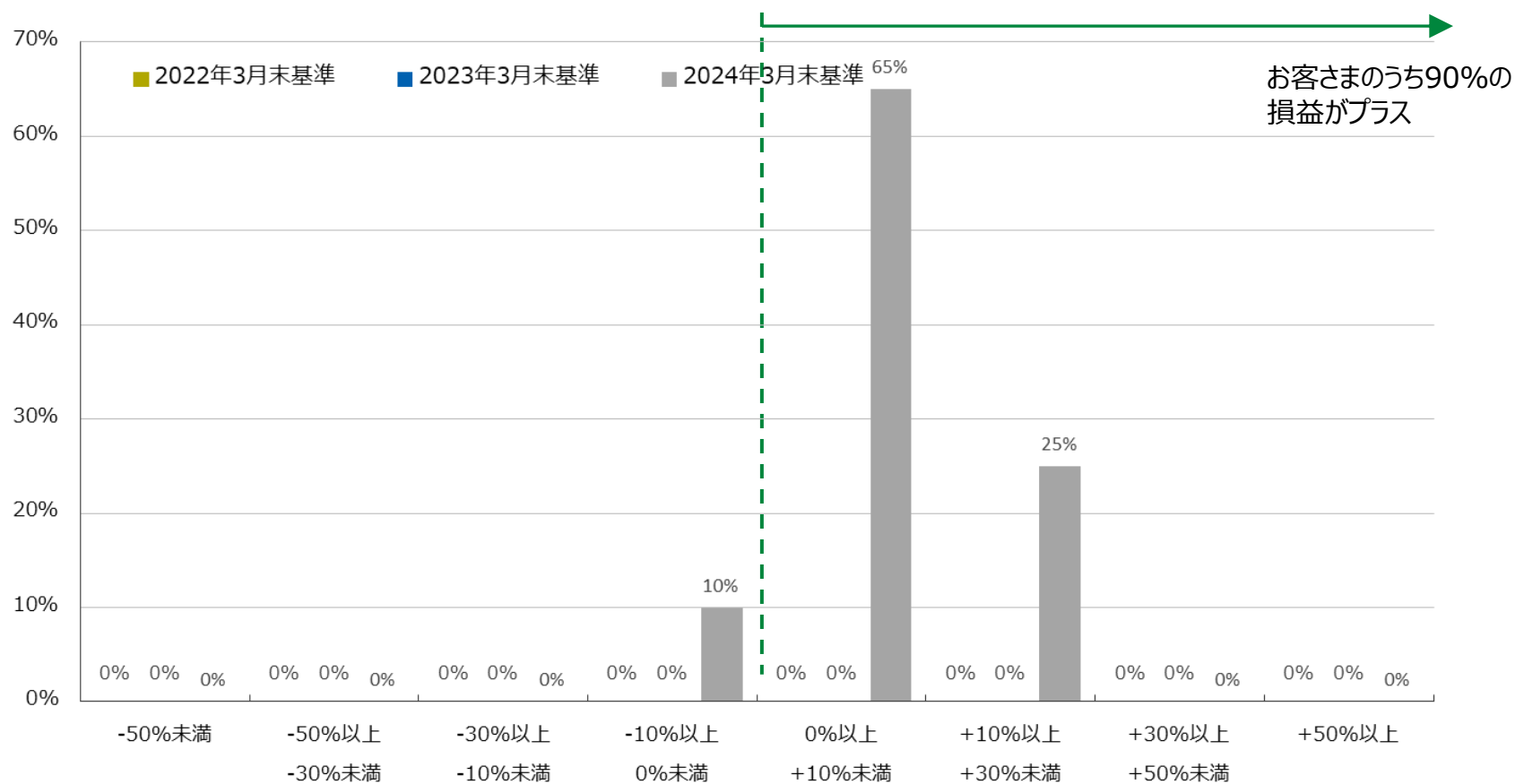
【原則2本文および（注）、原則6（注5）原則7本文および（注）】

・当組合は、職員向けつみたてセミナー実施、資格取得支援など組合員・利用者本位の業務運営を実現するための態勢を構築しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

1 運用損益別顧客比率（投資信託）

- 「運用損益別顧客比率」は、組合員・利用者の皆様へ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2024年3月末時点では全体の90%のお客さまの損益がプラスとなりました。

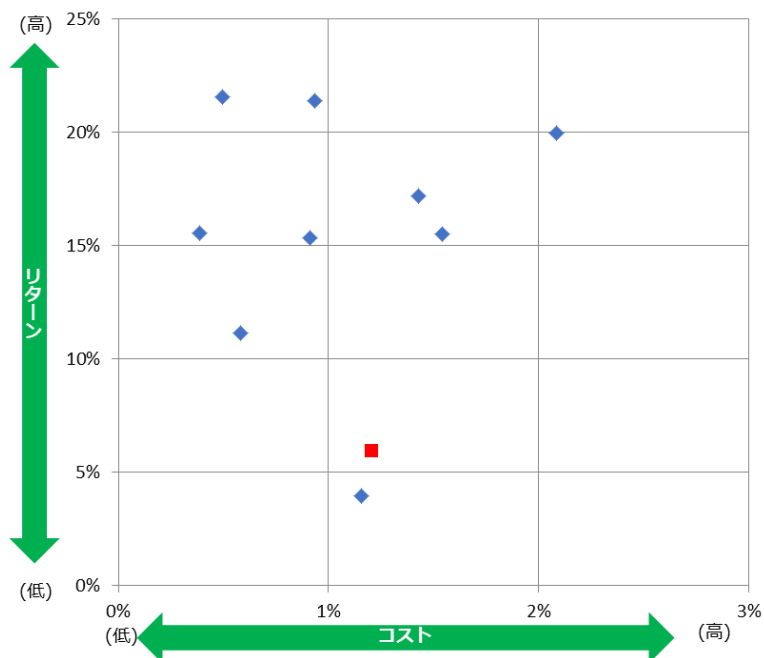


Ⅱ.比較可能な共通K P I

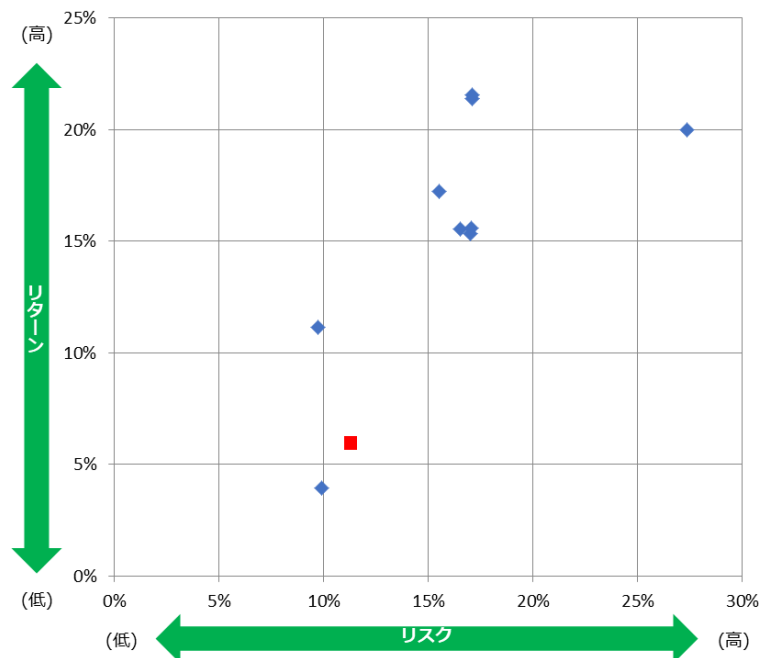
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2024年3月末）

- J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績を組合員・利用者本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.20%、平均リスク11.28%に対して、平均リターンは5.96%でした。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2024年3月末）

【預り残高上位20銘柄（設定後5年以上経過したもの）】

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	日米6資産分散ファンド [®] (資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.95%	9.89%	1.16%
2	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	17.22%	15.52%	1.43%
3	バイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント(株)	19.98%	27.37%	2.08%
4	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.40%	17.11%	0.94%
5	つみたてNISA米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.55%	17.11%	0.50%
6	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.34%	17.00%	0.91%
7	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	15.53%	16.54%	1.54%
8	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.57%	17.06%	0.39%
9	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	11.15%	9.72%	0.58%
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		5.96%	11.28%	1.20%

※ 2024年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は9本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。